

浜松西ロータリークラブ週報



世界に希望を生み出そう



2023～2024年度
国際ロータリー会長
ゴードンR.マッキナリー
第2620地区 ガバナー
中村 皇 積

Rotary International D2620 (静岡第5グループ)

事務所 浜松市中央区元城町109-18 〒430-0946
例会場 ホテルコンコルド浜松 例会日 毎週金曜日12:30～13:30
Tel:053-457-1116 Fax:053-455-4614
E-mail : hamamatsu-nishi@ri2620.gr.jp
会長 青木元男 幹事 淵原浩介
クラブ会報委員会 木下英也 瀧本健司 竹山定志
鈴木正史 須藤京子

第2181回 Vol.47-No.31 2024/5/24(金) 12:30～13:30 (晴)

司会SAA 山本英明君
点鐘 会長 青木元男君
ロータリーソング 「それでこそロータリー」
ソングリーダー 中村美香保君
四つのテスト 高部守弘君
ゲスト 小柳守弘様(インターアクト小委員会委員長)
采国孝 チャイ・クオシアオ(米山記念奨学生)



出席報告 北野一正君

| 会員数 | 総出席 | 当日出席率 |
|-----|-----|--------|
| 50名 | 40名 | 85.42% |

(免除者 15名) (事前MU 1名)

会長挨拶 青木元男会長

皆様こんにちは、先週の例会に引き続きまして、本日も青少年奉仕につきまして、お話しをさせていただきます。私ども浜松西ロータリークラブにはインターアクトクラブとしてオイスカ浜松国際高等学校を有しております。そのオイスカ浜松国際高等学校の部活動として活動しているフラダンス部の紹介をさせていただきます。高校生を対象に「フラダンス甲子園」という大会があることをご存知でしょうか。この「フラダンス甲子園」という大会は、2010年映画「フラダンス」の舞台となったいわき市で旧常磐ハワイアンセンターの初代フラガールの小野恵美子さんの発案でスタートいたしました。そして2011年3月11日の東日本大震災の後、復興のシンボルとして、全国の高校生がフラダンスの技と“踊る心”を競い合う舞台となりました。その東北大震災の当日たまたまスパリゾートハワイアン(旧常磐ハワイアンセンター)を訪ねておりましたオイスカ浜松国際高等学校の新井教諭が、フラガールやスタッフの皆さんに命を助けていただきその後しばらくスパリゾートハワイアンズに避難すると共に東京まで送っていただくことになりました。そのご恩に報いるために「フラダンス部を創ろう」と決意いたします。新井教諭はテニスは得意ですが、ダンスの経験はゼロ。それでも必死に頑張っており、2012年3月にオイスカの校内行事で初めて

フラダンスを披露しましたところ、生徒さんたちに非常に興味をもっていただきフラダンス部の発足を実現させます。その年の2012年8月「フラガール甲子園」に初出場し、いわき市の観客から大きな喝采を受けました。その後2015・2016・2022・2023年の計5回出場し、2015・2022・2023年と総合3位が3回という好成績を収めます。オイスカ浜松国際高等学校の特色は、部員7名の内4人が外国籍というタヒチアンダンスにある国際色の豊かさと、日本人の部員3名の心にある念仏踊りなど日本の伝統芸能の要素を融合させ、フラダンスに新鮮さを加えたことが評価された結果でございました。2022年の大会に出場した生徒さんで松本海也さんは大学進学の変更し、スパリゾートハワイアンズでのプロのフラガールを目指すことになったそうです。このことはオイスカ浜松国際高等学校の生徒さんたちに大きな刺激を与えたことは間違いなく素晴らしいことだと思います。「フラダンス甲子園」には全国より約20校が参加し、中には部員20名を超える強豪校もありますが、来年こそ是非優勝を目指したいと新井教諭は意気込んでいるようでございます。東北大震災によりハワイアンズの施設も壊れてしまい東北大震災後、当時のフラガールたちは舞台を求め全国キャラバンをし、その不屈な姿に多くのいわき市民が励まされたようでございます。因みに現在スパリゾートハワイアンズのフラガールたちは「出前授業」としていわき市の小学校を回り東北大震災のことを伝える活動をしているとのこととでございます。今後も浜松西ロータリークラブは会員皆様のお力をもって、オイスカ浜松国際高等学校インターアクトクラブを支えたいと思います。

それでは挨拶を終わります。本日もよろしくお願いたします。

◎ベネファクター認証
鷹見剛志君



幹事報告 涓原浩介幹事

◎例会変更のお知らせ

○浜松中RC (グランドホテル浜松)

・6月7日(金) 18:30~19:00

・6月21日(金) 18:30~19:00

◎配布物

・週報 2180号

スマイルレポート 中村美香保君

◎山地峰春君

小柳守弘地区インターアクト小委員会委員長様、本日はようこそお越し下さいました。青少年との接し方についてのご指導よろしくお願い致します。



本日のプログラム

担当 松山亘男 青少年奉仕委員会

発表者 2620地区プログラム委員会

小柳守弘 インターアクト小委員会委員長

タイトル「インターアクト活動と青少年の危機管理」

皆さんこんにちは、青少年奉仕委員会の松山です。本日の卓話は地区プログラム委員会、インターアクト小委員会の小柳守弘委員長をお迎えしました。



卓話内容は「インターアクト活動と青少年の危機管理」についてお話いただきます。

我が、浜松西ロータリークラブでも昨年度より危機管理委員会を設置し活動しているところですが、今後インターアクトなど青少年との関わりの中で危機管理は非常に大事になります。どうぞ皆さん卓話をお聞きいただき今後のロータリー活動の参考にしていただければと思います。それでは小柳委員長よろしくお願いたします。



◆本日の例会メニュー

- 小鉢 胡麻豆腐 旨味だし
- 造里 二種盛り
- 揚物 串揚げ盛り合わせ
- 烏賊メンチ
- 煮物 鯛カマ旨煮
- 小芋 青味 麩
- 食事 御飯 赤出汁 香の物

インターアクトクラブ (IAC)とは

IACとは14歳から18歳までの青少年のための奉仕クラブです。

IACは支援や指導を与えるロータリークラブによって後援されます。

インターアクトには世界中の

11,000以上のクラブに所属する250,000人以上の会員がいます。

第2620地区 IACの活動

1. 年次大会、指導者講習会 20校
2. 福祉施設ボランティア活動 16校
3. 地域(清掃、緑化)ボランティア活動15校
4. JRC(青少年赤十字)ボランティア活動
5. エコキャップ、コンタクトレンズケース回収活動
6. あしなが学生募金
7. 歳末助け合い募金
8. 点字カレンダー、点字書物制作
9. 献血ボランティア
10. 花のリレープロジェクト参加 ポリオ撲滅運動
コロナ禍医療従事者への応援活動
ウクライナ支援他 IACとロータリアンが一緒に奉仕活動

第2620地区 2024年度 IAC 行事

1. インターアクトクラブ年鑑作成、地区HP掲載情報共有
2. ロータリアンと顧問先生との連絡協議会7月6日(土)今年度の活動計画
3. インターアクト年次大会 8月3日(土)
大会テーマを決めて情報交換、研修、GWを行います。
幹事校:白根高等学校 提唱RC:南アルプスRC
4. インターアクト指導者講習会 10月26日(土)
次世代のインターアクト指導者育成を目指した講習会。
幹事校:桐蔭高等学校 提唱RC:沼津RC
5. インターアクト全国研修会(日時等詳細未定)
全国のインターアクトクラブのみなさんとの情報共有

IAC活動に対するRIの姿勢

RI(国際ロータリー)の姿勢

インターアクト(14歳から18歳)クラブ活動支援

↓ ロータリアンが共に活動

ローターアクト(18歳から30歳)クラブ活動支援

↓

将来のロータリアンに!!!

(SDGs:持続可能な開発目標)

国際ロータリーの青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーはロータリーに参加するすべての青少年のために安全な環境をつくり維持するために努力している。

ロータリアン、その配偶者、その他のボランティアは接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的虐待から彼らの身の安全を守るため、最善を尽くす責任がある。(2006年11月RI理事会より)

「ロータリー-青少年保護の手引き」(MY ROTARY)

ゼロ容認方針とは

ゼロ容認方針とは、とにかくセクハラや虐待の申し立ての報告があった場合、被害を受けてから(報告があった場合)その真偽や重大性、刑事上の事件性があるなしに関わらず72時間以内にRIに報告するというものです。

青少年の安全を最優先に!!!

虐待とハラスメントが発生する前の予防と認識が大切

1. 身体的なやり取り
 2. 言葉によるやり取り
 3. 一対一のやり取り
 4. メールやインターネットでのやり取り
 5. プレゼント (ロータリーの友 5月号)
- ・虐待、ハラスメントが発生した場合の影響を考えてみる。
・やり取りの際は、自分基準で考えない。現在の相手の立場で考えて行動する。昔はこうだったは通用しません。
対生徒だけでなく対先生、対ロータリアンもあてはまります。

虐待とハラスメント申し立てと報告の処理手順(1)

1. 学生等申立者からの虐待及びハラスメント申し立て
 - ・申し立てを受けた者だけで判断せず、学生の安全が確保された後、以下に従ってRIに報告
 - ・ロータリー-青少年保護に関する申し立て報告書
 - ・申し立て受領後72時間以内にRIに報告
- 事態発生時の当該クラブ、青少年交換委員会、IAC等での対応
危機管理委員会との情報共有
2. 学生からの事情聴取
 - ・クラブの第一認知者はクラブ会長・幹事・該当地区委員長に連絡
 - ・注意深く、冷静に、批判せず学生を安心させる。記録

まとめ(ゼロ容認方針とは)

セクハラや虐待の申し立てがあった場合72時間以内に危機管理委員会を通じてRIに報告すること。
①学生たちの保護を第1優先として被申立者からの分離、安全確保を十分配慮すること。
②危機管理委員会に連絡し、RIへ事実報告をする。
③申し立ての勘違い等による誤解や事案の真偽などを確認し、調査結果、措置についてもRIに危機管理委員会から報告する。